

# 会計人の教養

1

2017 JANUARY



学校法人高橋学園

専門  
学校

東京CPA会計学院熊本校

## 朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">進行</div> </div>	<p><b>進行役</b>：① 一步前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京CPA会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一步前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">教養長</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p>② 「おねがいします！」</p> <p>③ 「ありがとうございました」</p> <p>④ 「失礼します」</p> <p>⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> </div> <div style="margin-top: 10px; border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る ②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認 ② 「〇ページをお開き下さい」 ③ 「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る</li> <li>★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む</li> <li>★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」</li> </ul> <p>④ 全員が落ち着いたことを確認</p> <p>⑤ 「今日の心がけを斉唱いたしましょう」 「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る ② 「以上で朝礼を終わります。」 「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

# 会計人の教養

## 1

ひとりひとりが経営者

つもりちがい十ヶ条

高いつもりで低いのが教養

低いつもりで高いのが気位

深いつもりで浅いのが知識

浅いつもりで深いのが欲望

厚いつもりで薄いのが人情

薄いつもりで厚いのが面皮

強いつもりで弱いのが根性

弱いつもりで強いのが自戕

多いつもりで少ないのが分別

少ないつもりで多いのが無駄

そのつもりで

がんばりましょう。

学校掲示「今日の言葉 2015年7月9日分」より  
※「今日の言葉」とは、名言・格言を自由に書くコーナーです。

31 30 28 27 26 25 24 23 21 20 19 18 17 16 13 12 10

火月土金木水火月土金木水火月金木火

矢場とん  
運転免許  
履物を揃える  
名前  
邦ロック  
カツラ  
覚せい剤  
フルーツ革命  
イチゴの日  
ホクロ  
一人旅  
人間らしさ  
ポジティブ  
カタツムリ  
日本語の乱れ  
規則の必要性  
腹痛

17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

**2017 JANUARY** 平成29年 睦月[むつき]

第3巻1号(通算19号)

今月の目標

※ここに、今月の目標を記入しましょう。

名古屋めしの代名詞の一つである「みそかつ。」その人気に火を付けたのは、「矢場とん」という一軒の大衆食堂です。

今年年間237万人の客が押し寄せ、タイや台湾にも出店する程の人気店です。その快進撃を続ける「矢場とん」を築いたのは、創業家に嫁いできた一人の鈴木純子女将すずきじゆんこです。

全国的な一流のとんかつ店を目指し、のれんや食器、取引銀行から税理士まで変えました。また、従業員の教育にも力を入れることで、無断欠勤や遅刻もなくなりました。さらに、従業員の家族を含めた三者面談まで行い、離職率が50%を超える外食業界で、9%と圧倒的な低さを誇っています。

母の優しさは偉大なりという言葉があるように、いちとんかつ屋がここまで発展したのは、母親のような大きな優しさを持つ女将の人柄たまものの賜物です。

今日の心がけ◆母性を持ちましょう。

車は一見、荷物や人を運ぶのに特化している乗り物です。現にインフラも進み、熊本から東京に車で行くことも可能です。

しかし、車はただの足がついた箱ではありません。扱い方を誤れば、思いもよらない事故に繋がってしまいます。判断力の欠ける年齢や心的状態ではなおのことでしょう。そのため、運転免許があります。いわば、車を運転するにあたって必要な資格のようなものです。運転免許を取得するうえで、その者が運転するに足るかの証なのです。その証を手にするとは、車の扱いのプロであることを意味します。

しかし、運転免許を取得してなお、愚かな行為で人を殺めてしまう人が後を絶たないのが現状です。

車を動かす責任の重大さ、車の危うさを今一度、再認識するとよいかもしれませんね。

今日の心がけ◆責任を持って運転しましょう。

みなさんは、靴を脱いだらどのようなようになっていきますか。きつと、きれいに並んでいるのではないのでしょうか。それは、多くの人が、靴を脱いだら並べなさいと言われてきたからだと思います。

靴を揃えるということは、とても良い習慣です。きれいに並んでいる靴を見ると、とても良い気持ちになります。

この脱いだ靴を揃えるというのは、森信三先生もりしんぞうのしつけの三方条の一つでもありません。森信三先生は、脱いだ靴は自分の心の表れと言われています。人の心は、目には見えませんが行動に表れます。

このちよつとした行動が、社会人となってから必要になってくると感じます。上司の靴を並べたり、お客様の靴を並べるといった小さな心遣いが、周りにも良い影響を与えると考えます。

靴を並べるという、本当に小さなことでも、社会にでる一歩手前の私達が身に着け、習慣化しておくべきことだと思います。これから、習慣化できている人は継続し、まだ、習慣になっていない人は、ぜひ心がけてみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆靴を並べましょう。



名前とは、物や人に与えられた言葉のことです。

かの有名な「織田信長」は、おだのぶなが「織田弾正忠平朝臣信長」と呼ばれていました。この

名前は、家系を表し、位を表し、その人個人を表しています。

このような歴史を持つ、私たちの名前は、目には見えない奥深い意味をもっています。

例えば、現代の私たちの名前と言う苗字は、家族の一員である証であり、地域を表していたりします。名は、その人個人を表し、その名からニックネームなどもつけられます。

名前は、自分がいなくなっても生涯残るものです。これからも、先祖から受け継いだ苗字と、両親がつけてくれた名に誇りを持って生きていきましょう。

今日の心がけ◆名前を大切にしましょう。

みなさんは、「日本のロック」という意味の、「邦ロック」<sup>ほう</sup>を知っていますか。

アーティストでいうと、ワン オク ロック セカイ ノ オワリ ONE OK ROCK、SEKAI NO OWARI等、みなさんも一度は聴いた

ことがあるのではないのでしょうか。

邦ロックの魅力は、歌詞に伝えたいメッセージが現れているところです。

私は、曲を聴くと歌詞を調べて、この曲には、どのような思いが込められているのか考えます。そうすることで、心に響く音楽を見つけることができ、かつ、自分自身の感性も磨かれます。

感性が磨かれれば、仕事や日常生活で、いろいろな視点から物事を見ることができるので、もっと自分を刺激してくれるものが見つかると思います。

今日の心がけ◆感性を磨きましよう。

みなさんは、カツラを使ったことはありませんか。カツラは、薄毛を隠すため、美容師さんのカット練習のため、髪を切らなくても好みの髪型に変えられるファッションアイテム等、様々な使用目的があります。

カツラを世界一生産しているのは、中国です。中国は、「世界のヅラ工場」とも呼ばれ、人件費の安い中国に、世界各国のメーカーも工場を有しています。

また、カツラをつくるための人毛は、中国各地の農村部から集められます。貧しい農村部では、女性が髪を伸ばし、それを切って、カツラ工場に売り、家計の足しにしています。

このように、カツラ一つを調べてみても、世界の実態を知ることができます。みなさんも、身の回りにある物が、どこで、どのようにして、作られているのか、調べてみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆身の周りのものについて調べてみましょう。

覚せい剤とは、麻薬と呼ばれるものの一種です。みなさんの麻薬に対するイメージは、使用してはいけない、体に悪いものだ、という、マイナスのイメージが強いのではでしょうか。

覚せい剤や大麻、コカインなどの不正な麻薬は、薬物四法という法律に触れるため、取り締まる必要があります。軽い気持ちで手を出した結果、人格破壊や殺人などの事件を引き起こすため、ここ最近、取り締まりが強化されています。

しかし、中には医療品に使われるものもあります。例えば、「あへん」から抽出・精製されるコデインという成分は、市販の風邪薬にも微量に含まれています。同じく、モルヒネと呼ばれる成分は、がんの痛み止めとして一般的に使用されています。

このような、一般的な薬品に含まれる麻薬は、医療用麻薬として、厚生労働省より使用を認められています。

悪いイメージが強い麻薬ですが、身近な医療品にも使われています。今日を機に身近にあるものについて、少し調べてみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆複眼的な視野を持ちましょう。

創業から182年の歴史を持つ老舗企業しにせで、いち早くフルーツパーラーの原型を作るなど、日本のフルーツ界をけん引してきた「千足屋総本店せんびきや」。

メロン1個一万五千円、ブドウ1房1万円ぶさ…。驚くほど高値のついた果物がまるで宝石のように綺麗に並べられ、次々と売れていきます。

千足屋の果物が高い理由は、その栽培方法にあり、例えば、看板商品のマスクメロンは1本の茎くきから1つしか実を付けない「一茎一果いっけいっか」という栽培方法で育てられています。このように、常にクオリティの高いものを提供することで、高い信頼を獲得しています。仕事ひとつにしても、高い品質を目指したいものですね。

今日の心がけ◆本物志向を目指しましょう。

日本には、元旦などの国民の祝日や、バレンタインデーなどの記念日が存在します。これらは、一般的に知られている、特別な日ですが、あまり知名度が高くない特別な日も存在します。

その一つは、毎月「22日」の「いちごショートの日」です。これは、カレンダーの規則性が、生んだものです。その規則性とは何なのでしょいか。

それは、カレンダーをみると、「22日」の上には、「15日」が存在するというものです。「15日」は、「いちごの日」とされていて、カレンダーでは、その下に必ず「22日」があることから、毎月、22日は「いちごショートの日」となったのです。

このように、世の中には、規則性を備えたものが、数多く存在します。その規則性に気付くことで新たな発見があると楽しいですね。

今日の心がけ◆新たな発見を楽しみましょう。

みなさんは、自分のホクロがどこにあるのか、いつ頃出来たのか、把握していますか。ホクロが多いことで一部の方の悩みの種となる一方、チャームポイントとして扱うこともあるホクロですが、実は、そのホクロを扱った占いが存在します。それはホクロ占いというものです。

ホクロ占いの起源はかなり古く、人相学の一環として、古代インド、ギリシャ、14世紀の中世のヨーロッパなどでも研究されていました。

人相学では、顔のどの場所にほくろがあるかによって、かかりやすい病気や引き寄せる運命、性質などを観ていくことができますといわれています。

このように、何でもない些細な事でも、気づきがあります。身近なものの中に、想像ができないような気づきが隠されているかもしれませんね。

今日の心がけ◆気づきを見つけましょう。

昨今、老若男女を問わず一人旅をする人が増えています。JTBが実施したアンケートによると、回答者全体の約60%が一人旅をしたことがあると答えています。

なぜ一人旅をするのでしょうか。一人旅をすることで、日常生活から離れ自由気ままに過ごすことにより、気分転換を図ることができます。また、思い立ったらすぐに旅に出ることができるのも、魅力のひとつではないでしょうか。

一人旅では、すべて自分で意思決定して行動しなければならないため、必然的に決断力と行動力が必要です。時には思いがけないトラブルに見舞われることもあるでしょう。その時に、見ず知らずの人に助けられることがあるかもしれません。このように、実際に自分の目で見て行動することが貴重な経験となるのです。

そして、同じ経験、同じ場所でも、年齢や感情によっては感じ方も異なります。なぜなら、世の中は常に変化しているからです。

旅は人生に似ています。人生は自分の意思と行動、偶然の積み重ね、そして人との出会いによって作られます。旅もまた然りです。是非、自分だけの旅に出て自身とじっくり向き合い、新たな自分を発見しましょう。

今日の心がけ◆新しい自分と出会しましょう。



私たちはなぜ生きているのでしょうか。何のために生きているのでしょうか。

それは、自分以外の誰かに喜ばれて感謝されているときに、実感できるのではないのでしょうか。「人間らしさ」というものは、ここに集約されると感じます。

この世に生を受けた瞬間に、家族が何よりも温かく見守ってくれること。家族に支えしてもらいながら友達や仲間、愛する人ができること。人間らしく生きるということは、誰かのために生きるということではないのでしょうか。

人間は、自然界の中で唯一無二の存在であり尊厳のある生き物です。私たちは生まれながらにして、自由に幸せに生きる権利を持っています。これは日本国憲法にも規定されているものです。

私たちにできることはたくさんあります。私たちはそれを認識し、自覚したうえで、高い自尊心を持ち、自他敬愛の精神を重んじて、様々な人の役に立てるような人財となり、周囲の人々を幸せにする使命感を持ちましょう。

今日の心がけ◆周りの人に感謝しましょう。

成功者が、必ずと言っていいほど口にする言葉があります。それは「チャレンジ」です。

なにかにチャレンジするということは、ポジティブに考えることです。

ただ、いざチャレンジしたとしても必ずしも、成功するとは限りません。

しかし、成功者の多くは、その選択が吉と出るか凶と出るかでいっきいちゆういっぴんいっしょう一喜一憂一顰一笑す

るより、外れでもいい、当たればラッキーというポジティブかつ保守的な考えで挑戦し、後にどう修正するかを重要視しています。

挑戦する前から決めつけるのではなく、挑戦した後の余裕ある心持で再度挑戦しましょう。

今日の心がけ◆ポジティブかつ保守的に考えてみましょう。

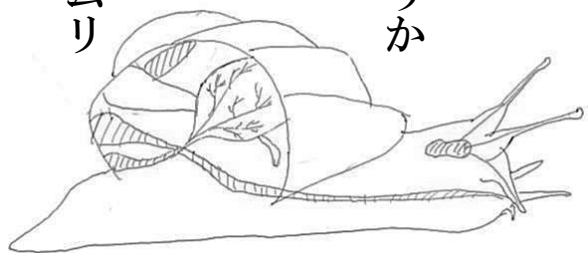
みなさんは、考えたことがありますか。「なんで、カタツムリはかわいいのにナメクジは気持ち悪いのか」ということを。

カタツムリとナメクジの違いといえば、ずばり、殻からがついているかどうかです。塩をかければどちらも縮み、カタツムリに関しては下記の図のよう  
うに、殻の中には内臓がびっしり詰まっています。

日本では、梅雨の時期になると、カレンダーなどにアジサイとカタツムリが描かれていることが少なくありません。

このように、小さい頃からの思い込みが、カタツムリとナメクジの違いであると思います。何事においても、外見や固定観念によって判断するのではなく、その物事の本質をとらえることで、新たな一面を発見できるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆自分の殻を打ち破りましょう。



みなさんは、日本語を話せることに喜びを感じたことがありますか。

近年、日本語が乱れているという話を耳にします。「やばい」という言葉のみで様々な意味を表現する人や、問題ないことを伝える際に「全然大丈夫」などです。

このような言葉は多くの方が使用していますが、その本来の意味を理解することが大切なのではないでしょうか。

そこで、日本人に生まれたからには、その歴史を感じるためにも、大和言葉やまとことばを使ってみたいと思いませんか。大和言葉とは、漢語や外来語が来る前から日本語にあった単語のことで、古くは、和歌の意味で「やまとのことのは」とも言われていたものです。

例えば、大和言葉とは「ふるさと」「うららかな」「夕暮れ」「心ばかり」などです。このような温かみのある大和言葉を、大切にしたいものですね。

今日の心がけ◆大和言葉を使ってみましょう。

規則とは何故あるのでしょうか。そのように考える人は、規則は各人の行動を制限するものと考えているのではないのでしょうか。

では、規則がない場合を考えてみましょう。

例えば、日本の交通ルールでは、車は左側通行ですが、もしこのルールを守らなければ、交通は妨げられ、人の行き交いはスムーズにはいかなくなります。このことから、規則は各人の行動を制限するものではなく、むしろ、各人の能力を最大限に活かすものだという事が分かります。

規則がない無法地帯では、人々はたえず警戒する必要があり、それによって各人は「自由」を制限されたり奪われたりするのです。

確かに、よく分からないような規則もありますが、それらも先人たちが必要だと考えたからこそ決められたものです。頭ごなしに否定せず、規則の必要性を考えてみるといいかもしれませんね。

今日の心がけ◆規則を守りましょう。

緊張しているときや冷たいものを食べたときなどに、腹痛はやってきます。

腹痛はなぜ起こるのでしょいか。その原因は、食事による胃や腸への大きな負担、ストレス、何かしらの防衛本能など様々です。

腹痛は不愉快なものです。それを抑えるため、薬を使うということも考えられます。しかし、薬は症状を一時的に和らげているにすぎません。最悪の場合、体が何かしらの危険信号を出しているにも関わらず。気づかないという事態にもなりえます。

そのため、このような薬は、試験の前などの本当に腹痛をどうにかしなければならぬ  
い時だけにしましょう。

腹痛に限らず、体が不調の時は、体が何かしらの信号を出しているときです。その信号を見逃さないことが体調を崩さないようにするための、第一歩ではないでしょうか。

今日の心がけ◆体のサインに気づきましょう。